

さくらぐみだより

～5歳児～



発行日 R3.8.1

梅雨が明け、空には入道雲がクッキリ。8月に入り、暑い日々が続きますが子ども達は汗をかきながらも元気に遊んでいます。クラスで育てた野菜も収穫の時期を迎え、子ども達も「やったー！」と収穫を喜んでいました。モヤシから育てた枝豆は、実はなったもののなかなか膨らまず「大きくならないねえ」と諦めかけましたが、毎日水をあげたり、肥料をあげる等大きくなるために必要なことを考えて行くと、徐々に実が膨らみ始め、小さいながらもたくさん収穫することが出来ました。収穫した枝豆は、おやつ「枝豆おにぎり」の中に入れてもらい、自分で握って食べるという経験もし、大満足の子も達。また、全クラス分の枝豆おにぎりの中に入れることも出来たので、園のみんなから、「おいしかったよ」「(枝豆がたくさん出来て)すごいね」と言われ、「自分達の取り組みがみんなのためになった」という喜びも感じられたようでした。

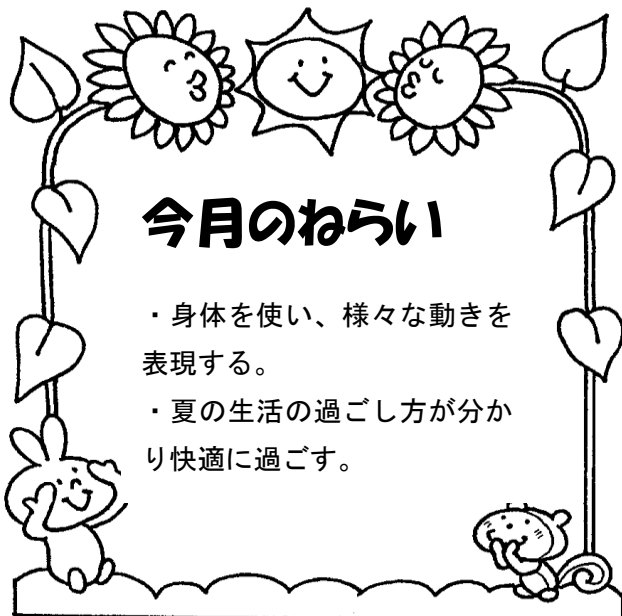
さくら組では、5月からグループで当番活動を行ってきましたが、栽培物の水やりもそのひとつです。先月のクラスだよりでお伝えしたちぎり絵の姿と同様に、苗や種を植えたばかりの頃は、「水やり当番」という役割はわかっている、「どうして水やりをやらなければならないのか」というところは漠然としていて、「当番だから水やりをする」と考えている子が多かったり、グループで活動するというより、個々に取り組んでいる子の姿が見られていました。「野菜が大きく育つためには何が必要か」「どの部分にお水をあげるといいか」「6人でたくさんあるプランターに水やりをするにはどうすればいいか」等々、日々活動する中で、はじめは子ども達と保育者と一緒に考え取り組んでいくと、徐々に「栄養(肥料)をあげたから、昨日より大きくなった!」「葉っぱじゃなくて土の部分にお水はあげるんだよね」「ぼくはこっちに水をあげるから、〇〇ちゃんは向こうね」等子ども達自身で気づき声をかけ合う等、自分達で考えて行動する姿が増えてきました。

先日行った夕涼みごっこでも、グループごとに各コーナーを担当しましたが、自分達は何をすればいいのか、その中で自分の役割は何か、友達と一緒にやるにはどうすればいいのかを考え、6人で協力しながら取り組む姿が見られました。今月からは新しいグループになりメンバーが替わります。少しずつ芽生え始めた「自分で考える力」を、引き続き様々な活動や友達との関わりを通して、育てていきたいと思えます。



今月の予定 ・体育指導 ・プール水遊び

・コオーディネーショントレーニング ・裁縫製作



今月のねらい

- ・身体を使い、様々な動きを表現する。
- ・夏の生活の過ごし方が分かり快適に過ごす。



8月生まれのお友達

お誕生日おめでとう